

# 文化財で見る松島の歴史

## 路傍の石碑が語る②⑤ 霊山に想いをよせて

江戸時代、出羽三山（月山・湯殿山・羽黒山）は山形県鶴岡市にある東北最大の修験道の聖地として崇敬を集めていました。山形県内では「十五の初参り」という一人前になるための儀礼として十五才になる若者が、近県では一生に一度は訪れる場所として年配の方が多く参拝していたようです。さらに遠くの千葉県などでは参拝した者が尊敬を集めるような習慣が見られました。といっても個人が遠方まで旅行するのは費用的にもまだまだ大変な時代。宮城県からは地域で「講」という互助組織をつくりお金を出し合って、代表者が順繰りに参詣することが一般的でした。地域には里修験という山伏の出先機関があり、松島町では紫神社が本山派（天台宗系）自光院を兼ねて地域の信仰を指導していました。

松島町では12基(8ヶ所)の三山碑がみられ、各地域に広く三山講があったことがわかります(地図参照)。松島字町頭には元文五年(1740)、今から280年も前に個人で33回登拝した記念に建立したと刻まれている三山碑(写真①)があります。また文化14年(1817)に建てられたものは3m近い高さを持つ石碑(写真②)で、牡鹿郡井内(石巻市)の石工である運蔵の名前が刻まれています。町内の他の三山碑も2mを超えるものが多く、三山への登拝が特別なものであったことがよくわかります。

(学芸員：森田)



▲町内の三山碑の位置



▲松島字町頭の三山碑位置



▲三山碑①



▲三山碑②

## じゅうぶんかといろ 十文化十色 ⑦ムスリムの文化



アメリカ合衆国ミシガン州出身のアシュリー国際交流員のコラム「十文化十色」。十人十色、いろいろな好みや考え方があるように、文化にも様々な違いがあります。このコラムでは、アメリカの文化やアシュリー国際交流員が松島町や日本での生活の中で感じた驚きや発見を紹介していきます！

### ハラールやハラームとは



▲松島旅館組合の英会話教室

2月に役場の会議室まで松島旅館組合英会話講座を7回開催し、接客の英会話や観光案内について、宿泊施設の皆さんと一緒に勉強をしました。最終回では、アレルギーや食事に関する様々なライフスタイルについて考えました。例えば、ムスリム(イスラム教徒)はハラールという食べ物しか食べられません。ハラールというのは「許されている」という意味で、逆に「ハラーム」というのは「禁じられている」という意味です。よく知られているハラームの食べ物は豚肉ですが、そのほかにも沢山あり、宗派によって異なります。

### ラマダーン

イスラム教にはラマダーンという特別な1か月間があり、日の出から日没まで、ムスリムの義務の一つである「断食(サウム)」が行われます。仏教でも修行で飲食を絶つことをしますよね。ムスリムが断食を行う理由は、貧富関係なく空腹や自己犠牲を経験し、飢えた人への共感や平等性を育むためだと考えられています。私がアメリカでアルバイトをしていた時の同僚はパキスタン出身で、日中はどんなに気温が高くなっても家族は水を飲まないと言っていました。少し難しいように感じますが、彼女の家族は信仰心が強かったのでもうね。しかし、条件によっては水を飲んでもいいと聞きました。

### イスラム教の五行

ラマダーンに行われる断食はイスラム教の五行のひとつです。ほかの四行はシャハーダ(信仰告白)、サラート(礼拝)、ザカート(喜捨)、ハッジ(巡礼)です。ムスリムはアラビア語で信仰を宣言し、1日5回キブラに向かって神に祈り、自分の収入の一部を困窮者に寄付し、サウジアラビアにあるメッカのカアバ神殿を巡礼します。メッカはムハンマドが神様から最初の啓示を受けたと言われているので、イスラム教の聖地となっています。



▲エルサレムの「岩のドーム」

## パキスタンのアルー・キ・ブジアの作り方



- 【材料】
- 玉ねぎ・・・1個
  - サラダ油・・・大さじ4
  - じゃがいも・・・500g
  - 塩・・・小さじ1
  - カイエンペッパー、ハバネロ、チリパウダーなど・・・小さじ2分の1
  - ウコン・・・小さじ2分の1
  - クミン・・・小さじ4分の1
  - トマト・・・2個
  - コリアンダー・・・お好みで

- 【作り方】
- ① 玉ねぎをみじん切りにし、サラダ油を引いたフライパンできつね色になるまで炒める。
  - ② 塩、カイエンペッパー、ウコン、クミンを加える。
  - ③ じゃがいもを加え、10分ぐらい炒める。
  - ④ トマトを加え、じゃがいもが柔らかくなるまで炒め、お好みでコリアンダーをかける。
  - ⑤ パキスタンのアルー・キ・ブジアを楽しみましょう！